

北海道ぎょれん広報

なみまるくん



4

2017
No.342

[うみ・なかま コミュニケーション]

北海道
ぎょれん



特集

ぎょれん中期的事業推進方向と
平成29年度事業計画 ー前編ー
平成28年度 全道漁協トップセミナー



今月の栄養は…

「糖質」

安心して食べられるから嬉しい“魚の糖質”

糖質

・体や脳のエネルギー源となる

糖質の主な効能

ここ数年、糖質制限など何かとクローズアップされることが多い「糖質」。私も糖質についてもう何年も前から研究していますが、今回は基礎をお教えしましょう。

そもそも糖質は炭水化物の一種。炭水化物を大きく分けると人の消化酵素で消化・吸収できるものを「糖質」、消化・吸収されないものを「食物繊維」と言います。糖質は体内でブドウ糖に分解されて、生きていく上で欠かせないエネルギー源になります。特に脳のエネルギー源はほとんどがブドウ糖なので、とても大切な栄養素ということが分かりますよね。

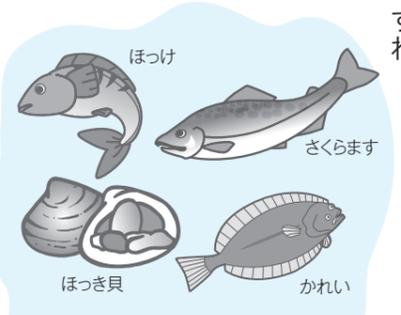
血糖というのは血液中のブドウ糖のこと、その濃度の測定値を血糖値と言います。血糖値が低下すると脳にエネルギーが供給されなくなるので、体は血糖値を常に一定に保つようコントロールされています。

血糖値が上がるとインスリンが分泌され、筋肉や肝臓などにブドウ糖を貯蔵させます。さらに余ったブドウ糖は、脂肪組織に取り込まれ中性脂肪として蓄えられていきます。これが肥満の原因のひとつ。糖質は大事ですが、摂り過ぎが問題という点になります。

ただし、不足も逆効果。エネルギーを作るためのブドウ糖が減ると、筋肉などを作るタンパク質が分解されてエネルギー源になります。すると筋肉が減少し、基礎代謝量も減って太りやすくなってしまうことも覚えておきましょう。

上手に糖質を摂るには、選ぶ方がポイントになってきます。血糖値を急激に上げない食品を選ぶこと。砂糖や白い小麦製品などは血糖値が急激に上がり、インスリンもたくさん分泌されて、せっせと中性脂肪として蓄えられていきます。血糖値をゆっくり上げていく食品を選ぶことが肥満予防にもつながります。

中でも魚介類の糖質は、血糖値の上昇が緩やかなのでオススメです。脂ののった魚介類でも大丈夫。気をつけたいのは調理法で、油と小麦粉やパン粉を使ったフライや天ぷら、ムニエルは血糖値が上がりやすくなります。



旬の魚介類で糖質補給
かれい、ほっけ、さくらます、ほっき貝など

今月の管理栄養士



うえ さか
上坂 マチコ
管理栄養士/美容栄養カウンセラー/
料理研究家/食の若返りプロデューサー
テレビ・ラジオ出演、新聞・雑誌などでコラム連載や栄養監修、レシピ・スタイリングの提供などを行う。講演会やメタボ指導、料理講師、短大・専門学校の非常勤講師など活動は多岐。ぎょれんと共に、「美容・健康に役立つ昆布」の情報をフリーペーパー等で発信。

01 なみまるくん おさかな栄養辞典
糖質

02 特集1
ぎょれん中期的事業推進方向と平成29年度事業計画 ー前編ー

10 浜の家族物語
釧路市漁協/砂庭 康介さん ご家族

11 頭すっきり!! ブレイクタイム

12 特集2
平成28年度 全道漁協トップセミナーが開催されました

14 全道漁協購買事業推進会議が開催されました

15 なみまるインフォメーション

16 大漁祈願!
浜のほっとニュース

17 みなさんのお便りでつくるページ
なみまる おたより箱



表紙の写真
釧路市漁協/砂庭 康介さんご家族です。

春の日差し穏やかな釧路港。水面の船影も鮮やか

特集
SPECIAL

ぎょれん中期的事業推進方向と
平成29年度事業計画 ー前編ー



ぎょれん 佐藤副会長

平成29年度が始まりました。今月と来月の2号にわたり、ぎょれんの「中期的事業推進方向(平成29年度～31年度)」と、「平成29年度事業計画」をご紹介します。

今月は佐藤副会長に中期的事業推進方向の基本的な考え方を伺うとともに、漁政対策、指導・教育事業、環境保全対策、販売事業(全体方針および鮮魚流通対策)の計画についてお伝えします。

来月は引き続き、販売事業のうち、秋鮭・ほたて・昆布に関する事業と、購買事業、宣伝・広報事業等の計画をご紹介します。

中期的事業推進方向の
基本的考え方

ぎょれんは「強い北海道漁業の確立」を目標に掲げ、平成26年度を始期とする中期的事業推進方向を策定し、会員と一丸となって各種事業を推進してきました。

しかし、この間、北海道漁業は生産量の減少に歯止めがかからず、浜は今、将来の資源への不安を持たざるを得ない状況にあります。一方、水揚げ金額は海外の旺盛な水産物需要と円安による為替環境の好転などを背景とした輸出事業の伸長により、基幹魚種を中心に魚価が上昇し、堅調に推移しています。

このような中で平成28年は北海道漁業の生産量が統計開始以来、初めて100万tを大きく下回る87万tとなり、減産に拍車がかかりました。生産基盤である昆布、ほたて、秋鮭等の前浜資源の減少に加え、ロシア海域における鮭・鱒流し網漁業の全面禁漁、さんま、いかなど多獲性魚の大幅な減産、さらには度重なる台風・大型低気圧等の気象災害等による漁場・漁具被害、営漁施設の損壊など甚大な影響を受け、今まさに北海道漁業はかつて経験したことのない試練に直面しています。

一方、道産水産物の消費流通を見ると、国内では魚価高傾向から製品価格が上昇し、さらに各世代の魚離れによる消費の低迷から国内市場は産地の供給コストを吸収出来ず、総務省の魚介類消費支出を見ても減少傾向に歯

止めがかからない厳しい環境が続いています。

また、世界的な水産物需要の高まりによる道産水産物の輸出も増大傾向にありましたが、昨年は本道生産量の減少と魚価高の影響で4年ぶりに前年を下回るなど、その勢いに陰りを見せつつあります。さらに、最近では保護貿易主義の萌芽が見られるなど輸出事業を取り巻く環境にも不透明感が見え始めています。

販売事業については、以上のことから国内の水産物需給バランスを十分考慮した道産水産物流通の国内対策を基本に据え、鮮魚対策事業では、産地加工施設の積極的活用により全道的な魚価維持対策を行います。また、道産ブランドの確立に向けて、付加価値製品の開発、産地市場から消費に至るまでのトレス・ヒリテイ、品質・衛生管理体制の強化を図っていきます。

国内市場においては食育活動、販売促進事業を効果的に行い道産水産物の一層の消費拡大に取り組みます。また、輸出事業においては、道産水産物の高品質を訴求した原材料輸出を継続するとともに、輸送・加工技術を付加した鮮魚・加工製品の海外末端向け販売を強化します。

購買事業については、営漁コストの削減に向けた系統ブランド資材普及拡大による漁協系統購買機能の強化に向けた取り組みを継続します。また、基幹事業である漁業用燃油においても系統集中化と施設整備による価格低減を図り、安定供給に取り組んでいきます。

指導事業については、漁協経営基盤強化を図るとともに、平成29年から5力年の次期水産基本計画を基に資源管理の更なる推進と資源回復のための効果的な取り組みや河川・漁場環境保全対策等に加え、担い手・後継者確保のための漁業生産手段確保に対する支援事業の継続と予算拡充等、関係団体と連携しながらその実現に向けた取り組みを行います。

漁政活動においては「浜の活力再生プラン」の実践等を通じた漁業経営の基盤強化策と漁業実態に即した効果的な資源回復対策実施を求めてきたなかで、漁業後継者対策としての「漁船リース緊急事業」等は一定の成果を挙げつつありますが、道内ニーズを満たす予算措置となっており、事業の継続と予算の拡充に向けた要請活動を継続していきます。

平成28年は協同組合がユネスコの無形文化遺産に登録されるなど、世界的に見直された記念すべき年でしたが、国内では農協改革など協同組合に向けられる目は依然厳しいものがあります。

次期3力年は北海道漁業系統団体の真価が問われる重要な期間となりますが、これを踏まえ、次年度以降の事業推進にあたっては、漁協系統の原点に立ち返り「浜から頼られる」系統組織であり続けるため、指導・経済事業連合会としての機能強化を図り、組織を挙げて各種対策に取り組んでいきます。

本会・本道漁業を取りまく環境の「機会」と「脅威」

機会

- 〈国内〉
 - マーケットの変化(価格の二極化・ニーズの多様化)
 - 高まる北海道の水産食糧基地としての役割
 - 外国人観光客の増加、東京五輪の開催
 - 資源管理型漁業の定着・拡大による供給の安定化
 - ニシン等の新たな増殖事業の成果
 - 北海道漁協系統の組織結集力
 - 原油価格の低位安定
- 〈海外〉
 - 世界的な水産物需要の増大
 - 世界的な天然資源の頭打ち
 - 「天然」・「北海道ブランド」の価値向上
 - 日本食ブーム、「和食」のユネスコ無形文化遺産の登録
 - 国策による輸出促進
 - 輸出関連魚種を主体とした魚価の上昇

脅威

- 〈漁業環境〉
 - 台風・地震等自然災害に伴う大規模な漁業被害
 - 気候変動等による漁業・魚種への影響(含む有害生物)
 - 前浜資源の減少、地域間格差の拡大
 - 日本近隣海域における外国船による漁獲高の増加
 - 漁業生産者の減少、高齢化、後継者不足
 - 漁業コストの上昇等による漁業経営の悪化
 - 加工業者の経営環境悪化(原料・労働力・設備投資等)
 - 組合員の協同組合運動意識の希薄化
- 〈経済環境〉
 - 世界経済の不安定化と円高による輸出への懸念
 - 国内マーケットの縮小(高齢化・人口減少・魚離れ)
 - 社会の変化に伴うマーケットの多様化
 - 長期化したデフレの影響が残る消費者の低価格指向
 - 物流環境悪化によるコスト増大(輸送・保管)

○加工

1. 漁協工場・協力会社・関連会社との加工機能強化

- (1) 漁協工場・協力会社・関連会社との組織的連携による機能の強化
- (2) 原料減少に対応した安定的な稼働体制の確保
- (3) 突発的水揚に対応できる鮮魚加工流通体制の拡充
- (4) 消費者ニーズに対応した高次加工・高付加価値加工ネットワークの強化
- (5) フードディフェンス、品質・衛生管理、法務体制の更なる高度化

※フードディフェンスとは食品への意図的な異物の混入を防止する取り組み。原料調達から販売までのすべての段階において、人為的に毒物などが混入されることのないように監視するもの。

○流通

1. 国内販売対策

- (1) 浜と一体となった各種流通対策の継続と強化
- (2) 会員及び重点取引先との関係強化による安定した集荷体制の構築
- (3) 多様化するマーケットに対応した商品開発機能及び販売体制の強化
- (4) 「中食」分野を中心とした需要伸長分野の販売強化
- (5) 販売戦略と連動した効果的な販促活動の実施

2. 輸出対策

- (1) 既存販売先との取り組み強化と新規販路拡大に向けた積極的な販売の展開
- (2) 会員、関連会社一体となった輸出機能の強化
- (3) 輸出リスク(為替・与信管理)管理体制の強化
- (4) 円滑な輸出手続き実現に向けた行政との連携強化

購買部門

○漁網網

1. 系統ブランド資材の普及による漁業資材コストの低減化

- (1) ぎょれんマリノサポート(株)との連携による組織的営業活動の更なる強化
- (2) 系統ブランド資材評価推進委員会、各種部会等における普及活動の強化
- (3) 研修会やメーカー視察等実施による商品紹介を通じた販売力の強化

○石油製品

1. 系統燃油事業の更なる強化

- (1) 安定供給体制の維持と適正価格による供給に向けた取り組み強化
- (2) 共有タンク再編整備計画に基づく整備等の実施と法規制等に即した計画見直しの実施

○その他機器

1. 漁業省力化機器の開発による営漁コストの削減

- (1) 浜及び関連メーカー等との連携による省力化機器開発の継続実施

経営重点方針

○経営基盤強化

- 1. 会員配当の継続と計画的な内部留保による財務基盤の強化
- 2. 費用対効果を勘案した戦略的な設備投資の実施
- 3. 事務合理化・経費削減による経営のスリム化
- 4. 経営リスク管理体制の維持
- 5. コンプライアンス(法令遵守)経営の更なる強化

○人材育成

- 1. 雇用環境の変化を見据えた人事制度の構築

○グループ全体の強化

- 1. グループ全体の経営基盤強化を目的とした事業再編の継続
- 2. 適正な人員配置によるグループ全体の組織力の強化

中期的事業推進方向(平成29年度~平成31年度)

基本方針『水産王国北海道の復活』

- 未来を拓き繋ぐ事業展開
- 多様性に対応する経営体制の構築

部門別重点方針・政策

指導部門

○漁政

1. 後継者が安心して漁業を継ぐことができる施策の展開と取り組みの強化

- (1) 担い手・後継者対策の拡充強化
- (2) 自然災害被害に対する各種支援拡充に向けた取り組みの強化
- (3) 漁業収入の向上・安定に向けた取り組みの拡充強化

2. 的確な資源管理の推進と資源増大に向けた取り組みの強化

- (1) 行政及び関係機関と連携した資源増大対策の推進
- (2) 漁業実態に即した資源管理体制の強化
- (3) 資源と漁場に見合った適正な操業体制確立に向けた取り組み

○指導教育

1. 漁協の経営適正化及び人材育成への取り組みの継続強化

- (1) 漁協経営指導の充実と全国監査機構監査を通じた経営適正化指導の更なる強化
- (2) 漁協役職員の人材育成並びに組合員等教育への側面的支援の継続
- (3) 漁協経営健全化指導の継続実施

○環境

1. 漁業環境保全対策の強化

- (1) 河川・海洋環境保全対策の取り組み強化
- (2) 有害生物被害防止対策の取り組み強化
- (3) 森林環境保全対策の推進

販売部門

○市場

1. 安定流通・魚価維持のための産地市場対策の拡充

- (1) 地域基幹魚種対策の推進
- (2) 鮮魚加工流通ネットワーク戦略に基づいた鮮魚対策の推進
- (3) 道と連携した市場衛生管理体制の更なる強化

平成29年度事業計画

指導事業について

1. 漁政対策

本道漁業は水産資源及び水揚げの減少や漁業者の高齢化が進み、漁船も高船齢化しているなど、厳しい状況に直面していますが、資源の回復と増大を図るとともに、漁村活性化の為に担い手・後継者を確保し、漁業経営の安定化を図る必要があります。

この様な中、国は平成29年度から5カ年の新たな水産基本計画において、資源管理の更なる推進と強化を最重要方針として謳っていますが、本道漁業においても漁業実態に即した資源回復のための効果的な取り組みの強化が喫緊の課題となっています。

また、担い手・後継者確保のために、漁業生産手段の確保に対する支援についても引き続き、事業の継続と予算拡充を求め、資源回復のための対策の実施と併せ、生産体制の確立と漁業経営基盤の構築を図っていく必要があります。

本年度の漁政対策の推進に当たり、効果的な資源管理・資源増大及び漁業経営の安定化を最重要課題として、その実現に向けた取り組みを行うこととします。

(1) 効果的な資源管理の実施と資源回復・増大に向けた取り組み

① 魚種や海域の状況を踏まえ、漁業実態に応じた資源管理の実施と実現に向けた取

り組み

- ② 栽培漁業の更なる推進と各種試験研究強化要望に向けた取り組み
- ③ 地域毎の各種漁業者実践協議会等の開催を通じて資源に見合った協議の促進
- ④ 密漁防止の実効性向上に向けた取り組み



道内各地で行われる密漁防止パトロール

(2) 浜プランの着実な実践による漁業経営安定化に向けた取り組み

- ① 担い手・後継者の確保のための資源増大と生産設備取得・更新支援に向けた取り組み
- ② 漁業収入の向上・安定に向けた取り組み
- ③ 海獣類・有害生物等の漁業被害対策の強化と新たな経営支援制度の創設に向けた取り組み
- ④ 漁業用燃油税制の免税措置に向けた取り組み
- ⑤ 水産多面的機能発揮対策事業の更なる拡充強化に向けた取り組み

3. 漁業環境保全対策

海獣等の有害生物による漁業被害軽減に向けた取り組みを強化するほか、本道周辺海域における漁場環境や河川環境の更なる向上を目的とした総合的な環境保全対策を実施します。また、流木等の漂着物対策について、発生抑制対策の実現に向けた取り組みを強化し、各種処理対策事業の効果的な活用を進めます。さらに、全道における植樹活動の発展と拡大に向けた取り組みを強化していきます。

(1) 有害生物漁業被害防止総合対策事業の推進

① 海獣類や有害生物による被害防止対策の拡充および事業の継続に向けた対応の強化

(2) 河川・漁場環境保全対策の継続強化

- ① 工事濁水・事業場排水関連
 - ア. 漁場・河川環境の改善に向けた地区協議会等での総合的な協議の実施
 - イ. パトロール活動等による泥土砂・濁水流出防止に向けた協議対応
 - ウ. トンネル等大規模工事における湧水や有害物質発生対策の強化
- ② 流木等海岸漂着物、廃棄物関連
 - ア. 流木発生抑制対策の実現に向けた地域協議会の設立促進
 - イ. 海岸漂着物処理事業の活用による流木・漂着物処理対策支援の推進
 - ウ. 漁業系廃棄物・残渣の適正処理対策に向けた取り組み対応

- (3) 自然災害被害対策に向けた取り組み
 - ① 台風・大型低気圧等自然災害による漁業被害への復旧支援に向けた取り組み

(4) 水産物貿易自由化問題への取り組み

① 今後の貿易自由化の動きに対する対策及び本道漁業への影響回避に向けた組織的対応

2. 指導・教育事業

漁業・漁協経営を巡る環境は、国内外の要因により不透明さが増し、さまざまな課題を抱える中で、漁協に力を結集し、対処していくことの重要性が増していることから、協同組合精神に根差した強い組織づくりに向け、漁協運営の根本となる経営の適正化と健全化向上及び、人材育成強化に向けた取り組みを進めます。

(1) 漁協経営健全化指導の継続実施

① 経営健全化が課題となっている漁協に対する漁協経営強化推進本部を通じた重点的指導・支援の継続実施

(2) 漁協経営の適正化向上に向けた指導

- ① JF全国監査機構による監査を通じた改善指導の継続実施
- ② 漁協における内部監査の定着に向けた取り組み支援
- ③ 法制度等改正に関わる実務対応等、経営指導の実施

(3) 農業関連

- ア. 行政・農業関係団体との対策協議による家畜排せつ物対策の強化
- イ. 農業関係団体との環境保全に向けた取り組み推進
- ④ 海洋環境関連
 - ア. サハリンでの原油開発およびタンカー等による油流出事故未然防止対策の推進
 - イ. 海域および河川における油流出事故の対応方法や防除体制の整備強化
 - ウ. 洋上風力発電等の各種エネルギー開発に関する対応強化

(3) 森・川・海のつながりを活かした森林環境保全対策の推進

- ① 全道における植樹活動の発展に向けた取り組みの強化
- ② 「お魚殖やす植樹運動」の活動意義を広く浸透させるための普及啓発の継続推進



漁協職員を対象とした研修会

(5) 指導部門の情報提供

- ① 第10次組合員意識調査、青年部意識調査の実施
- ② 指導部門情報・ホームページの充実



道民の森で毎年初夏に行われている植樹

販売事業について

昨年の本道漁業生産量は統計開始以来初めて100万トンを下回る約87万トンに止まり、急激な水揚の減少による稼働率の低下と原料価格の上昇による厳しい環境のもと、産地加工の機能低下が顕著となっております。

消流面においては、原料価格の高騰に伴う製品価格の上昇や魚離れの進行により国内消費の減退に歯止めがかかりません。

一方、世界経済も回復への期待が高まっているものの、保護貿易主義が萌芽するなど海外情勢も混沌としており、道産水産物輸出の動向にも依然として不透明感が漂っています。

こうした中、「水産王国北海道の復活」を目指し、北海道ブランドのさらなる基盤強化策を推進することで、国内市場の消費回復と海外市場の拡大に努めることが一層重要となっております。

については、昨年度に引き続き各種流通対策・消流宣伝事業との連動により強固な産地集荷体制及び販売ネットワークづくりを図るとともに、国内外に向けた加工・流通対策を拡充強化していきます。

【産地対策】

- (1) 秋鮭・ほたて等の基幹魚種対策の継続
- (2) 本会直営工場・漁協工場・提携工場等の安定的な稼働体制確保に向けた取り組み
- (3) 品質衛生管理体制の質的向上
- (4) 漁協・産地加工業者との連携による集荷体制の強化

系統鮮魚の販売強化を図るとともに、取り巻く環境を的確に捉え、加工及び国内外の販売体制の強化、新商品開発などの対策事業の充実を図っていきます。

① 鮮魚取扱形態別対策

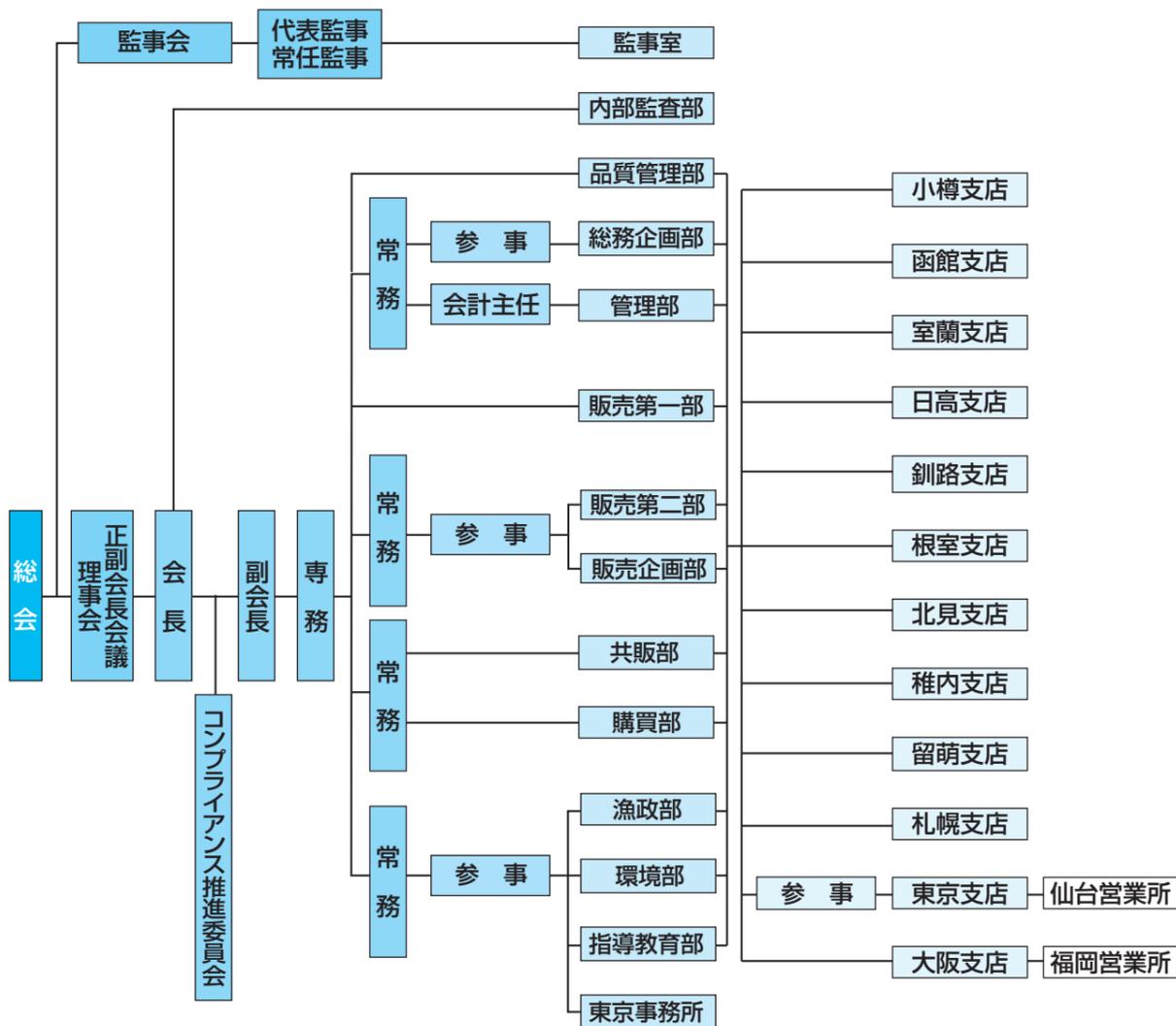
- ア. 産地・消費地の連携による系統鮮魚の販売強化
- イ. 集中水揚げ時における魚価の底支え・流通対策の推進
- ウ. 中国や東南アジア向け鮮魚輸出への取り組み
- ② 鮮魚加工事業
- ア. 水揚げに応じた鮮魚加工体制の構築
- イ. 消費地ニーズに対応した商品開発の推進並びに高次加工への対応
- ウ. 未利用魚種等の新規加工に向けた取り組み推進
- ③ 鮮魚冷凍事業
- ア. 鮮魚センターを拠点とした広域的处理体制の拡充
- イ. 国内向け原料販売の強化並びに輸出路の確立
- ウ. 販売拡大に向けた選別・規格等の統一化への取り組み

(2) その他

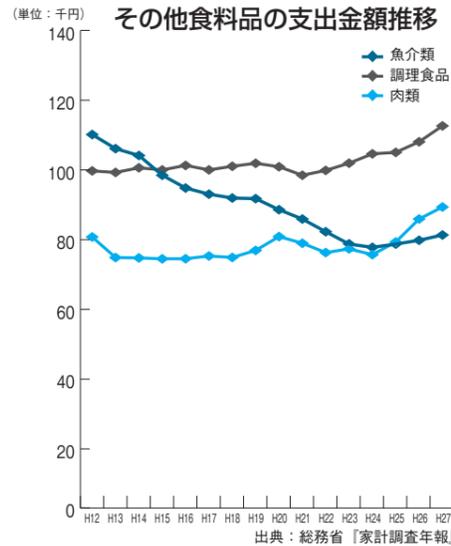
- ア. 産地市場連絡会議への参画
- イ. 生産地での衛生管理向上に向けた取り組み強化

ぎよれんの新機構図

中期的事業推進計画の実現に向けて、機構改革を行います

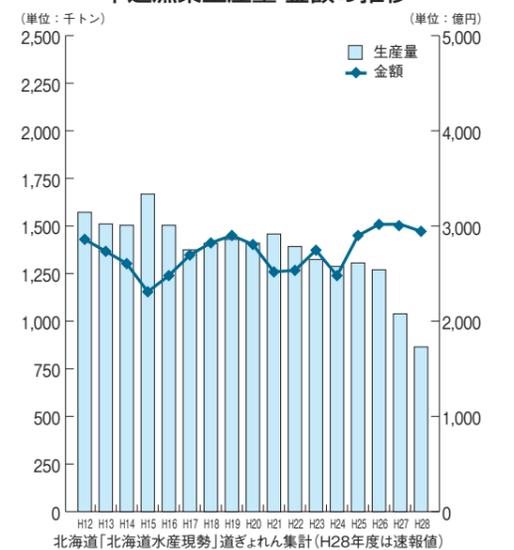


1世帯あたりの魚介類と
その他食料品の支出金額推移



- ① 道ぎよれん会を核とした全国的な販売ネットワーク網の拡充
- ② 需要確保に向けた各種流通対策・消流宣伝事業と連動した提案型営業の継続強化

本道漁業生産量・金額の推移



- ⑤ 鮮魚加工流通ネットワーク事業の継続

【海外輸出対策】

- (1) 海外取引先との更なる組織的取り組みの強化
- (2) 加工向け原料の輸出継続と生鮮及び加工製品の輸出拡大
- ① 基幹魚種の需給調整機能としての加工原魚輸出の継続
- ② 生鮮及び加工製品輸出の取り組み強化
- (3) 国・道による輸出補助事業を活用した海外販路拡大
- ① 販促事業等によるマーケットの開拓
- ② 海外協力会社との連携による品目別・業態別販路開拓の継続
- (4) 道産水産物の円滑な輸出促進のための国内環境整備に向けた行政への要請活動の実施
- ① 輸出入通関手続きの簡素化、迅速化
- ② 輸出相手国毎に異なる各種規制の緩和
- ③ 航空貨物の荷捌き・通関体制の整備

【鮮魚流通対策】

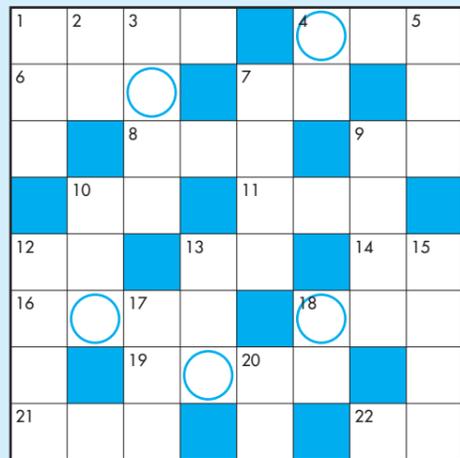
近年の海洋環境の変化により、かれい・ぶり等の一般鮮魚については漁獲時期の遅れが見受けられる一方、一時的・突発的な水揚げも生じるなど、水揚げが安定しない難しい環境となっております。

こうした中、これまで本会では、道産鮮魚貝類の円滑な消流を目的に、系統鮮魚の販売強化のほか、鮮魚センターを拠点とした加工から販売までの体制整備を進め、鮮魚対策の拡充を図ってきました。

今年度も引き続き浜の要望に対応すべく、

クロスワードパズル

次のクロスワードを完成させ、○印に当たる言葉をうまく並べてください。4月は新生活が始まる季節。学生にとっては新学年となって、気持ちが高ぶる楽しい時期ですね。



○印に当たる言葉を
うまく並べてください。

解答 となります。

くわしい応募方法は、17ページをご覧ください。
抽選で5名様に図書カードをプレゼントします。



3月号の解答と当選者
ヒナアラレ

(北斗市) 福永 美愛さん
(標津町) 猪狩 浪子さん
(雄武町) 花松 明奈さん
(初山別村) 白府美恵子さん
(羽幌町) 古川 洸さん

タテのカギ

- ① 鬼の目に浮かぶことも
- ② おにぎりや軍艦巻きに使う海藻
- ③ 今風に言えばイケメン
- ④ 寿司に添える甘酢生姜
- ⑤ 夜間に走る○○○電車
- ⑦ 寅さんがお腹に巻いている物
- ⑨ 国外⇄
- ⑩ 厨房に入らずと言われたのは昔
- ⑫ 一家の収支を記入する帳簿
- ⑬ 怒りやすい性格
- ⑮ 花盛りの状態
- ⑰ 知床半島は「世界自然○○○」
- ⑱ 「○○」と言えば「かあ」
- ⑳ ○○と希望に胸ふくらむ新入生

ヨコのカギ

- ① アブラナとも言う黄色い春の花
- ④ タレントの控室
- ⑥ 料理にテリや甘味をつける酒
- ⑦ これに糸をとおす
- ⑧ 花見と言えばこの花
- ⑨ 亀の○○より年の○○
- ⑩ 発電や水がめとして建設
- ⑪ 花粉症対策で顔に装着
- ⑫ スチール製もアルミ製もリサイクル
- ⑬ カムイワッカ、オシンコシン、フレベと言えはなに?
- ⑭ 火をとおしていない料理の状態
- ⑯ 切手に押すスタンプ
- ⑰ ベッドが二つある部屋
- ⑱ 日本一は鳥取ではなく青森県の猿ヶ森
- ⑳ 美人が座っている姿に例えられる花
- ㉑ 潮干狩りの獲物

間違いさがし

間違いは5つです。

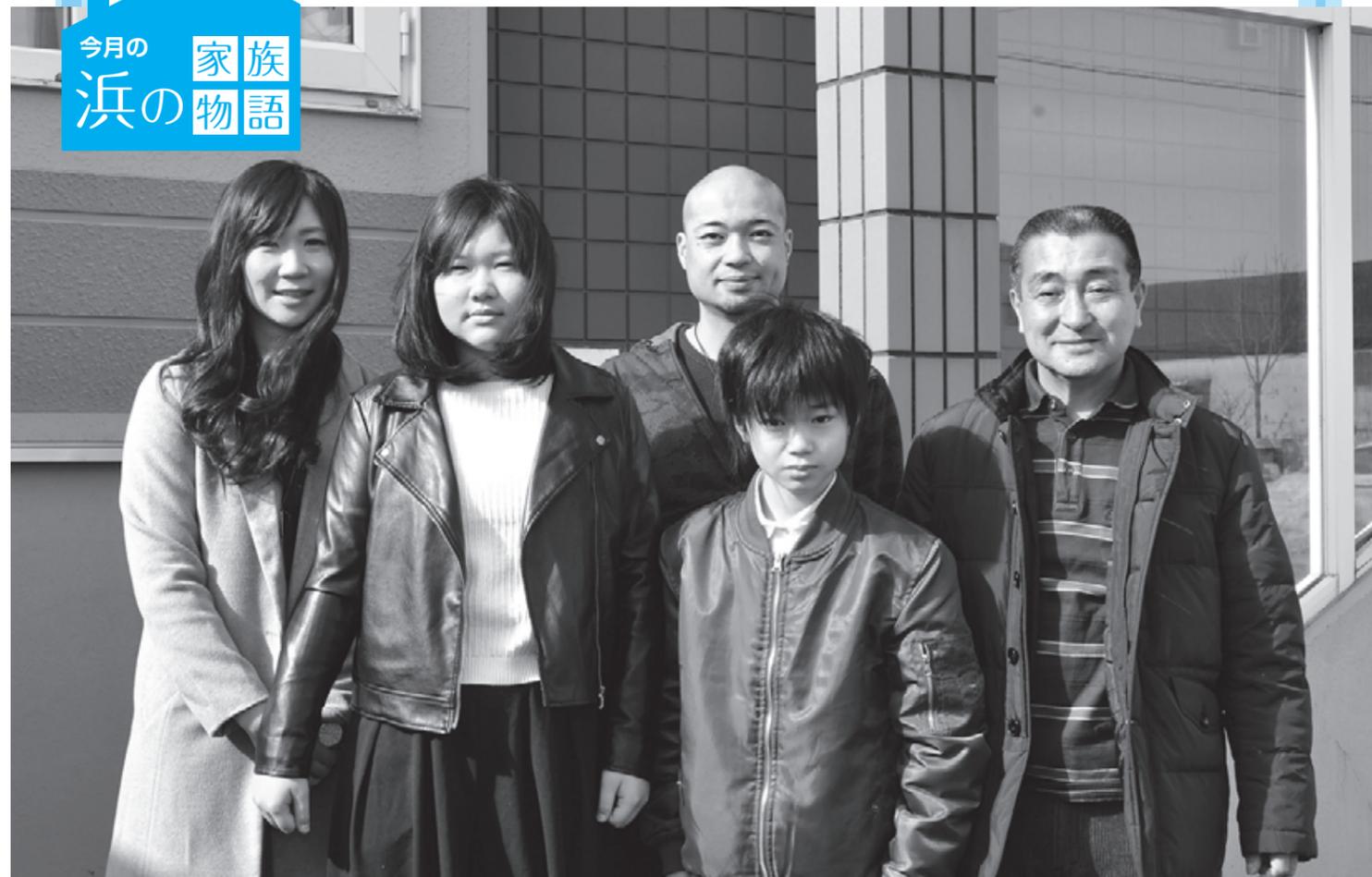
※右と左の絵には、5カ所の異なるところがあります。
さあ、見つけてください。
(印刷のズレや汚れは関係ありません。)



※答えは17ページにあります。

表紙に登場いただいたご家族を紹介いたします。

今月の家族の物語



【砂庭さんご一家】 砂庭康介さん(36歳)、しのぶさん(34歳)、愛羅ちゃん(15歳)、康生くん(12歳)

※康介さんの父・清司さんと共に

「浜の家族物語」では、「なみまるくん」の表紙に登場いただいたご家族を紹介いたします。今回は、釧路市漁協の砂庭さんご一家です。

今は自分が跡継ぎ、大漁目指す

亡くなった康介さんの母直伝の「かれのいの煮つけ」が得意料理、というしのぶさんは釧路市内の出身。「さんま漁や、昨年までやっていた鮭鱒流し網漁では、数日間連絡が取れないんです。その間は、事故などがないか日々心配しています」と教えてくれました。

長女 愛羅ちゃんは4月から高校1年生。中学校の頃にはボランティア部に所属するなど、両親ともに認めるやさしいお姉ちゃんです。長男康生くんは4月から中学生になりました。サッカー好きで、3年生から地元のクラブで活躍しています。

康介さんは「子どもが漁師になりたいって言うてくれたら背中を押したいな」と笑うとともに、「うちは父がまだ現役だから、今は自分が跡継ぎ。4月からは灯台つづが始めますが、怪我なく、大漁目指して頑張りたいです」と話してくれました。



仕事への愛着は大漁と家族があったから

夏から秋のさんま棒受け網漁を中心に、春に灯台つづ漁、冬にはししゃも漁とかに籠漁を営む康介さん。「高校を卒業して、なんとなく漁師になったんです。最初はそんな気持ちで始めたから、仕事がつらくなることもありましたが、周囲のプレッシャーを感じたこともありましたが、でも、やっぱり大漁になれば楽しいし、手ごたえもある。だんだん仕事に愛着がわいてきました。家族ができたことも仕事が好きになるきっかけだったかもしれません」と話します。

釧路市漁協青年部の副部長も務めている康介さん。部員は10人ほどと小規模ではありますが、地元のお祭りへの参加や出前授業など、活動は盛んです。毎年1月の全道青年部大会の前日には岩見沢の小学校での出前授業が恒例だそう。「包丁を使わず処理できる、いわしのさばき方を教えています。骨ごと叩いていわしハンバーグを作りますが、皆おいしく食べてくれます」と笑顔で教えてくれました。

平成28年度 全道漁協トップセミナーが開催されました



平成28年度 全道漁協トップセミナー

ガバナンスとコンプライアンス
 バブルからの30年を失われた30年というが、同時に倫理を失った30年ではなかったか。ガバナンスとは、それに対する揺り戻しである。ガバナンスは企業統治とも訳されるが、主権者である株主（協同組合では組合員）、業務執行をする社長や執行役員（理事）に対し、監視・監督役として取締役会（経営管理委員会）を設置してコントロールすることをいう。一方、コンプライアンスとは、社長や執行役員（理事）が職員など、自らの組織に対して不正の防止や社会の要請の受け入れなどを働きかける、リスク回避や軽減のこと。ガバナンスとコンプライアンスは次元の異なるものである。

協同組合は地域と人間がセツトとなっている

同じ組織でも株式会社と協同組合には大きな違いがある。株式会社の主権者である株主は倒産しても逃げる事ができる。一方で、協同組合は地域と人間がセツトであり、主権者である漁業者は逃げる事が難しい。組織が永続できなかった際の被害は協同組合の方がより大きい。株式会社よりもコンプライアンスやガバナンスに注意を払わなければならない。
 企業の不祥事は安易な性善説で、長年の違法行為の黙認、看過し続けてきたことに起因している。そして、時代に合わないものは不

日本にもガバナンスやコンプライアンスがあった！ 日本の組織原理

○300年近く続いた幕藩体制

家康は老中に対抗する大目付を設置（執行部に対する監視・監督機能の充実）し、内部統制のために隠密・お庭番などを充実させ（リスク情報の収集）、八代吉宗は内部通報を活用すべく目安箱を設置（現代で言うホットライン）。

○近江商人の「三方よし」

何百年も続く近江商人には「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」の三方よしの格言が伝えられている。

そのほかにも武家では「家名に恥じることなきか」、財閥では「家訓」、庶民では「お天道様が見ているよ」という考えがあった。



しかし…
 現代では、「利益優先主義」に狂奔し、日本的倫理が崩壊。その後、コンプライアンスという装いに変えて揺り戻しが起きている。



軽妙な語り口もあり、参加者は講演を熱心に聞いていました

祥事に直結する。過去のマニュアルや行動規範を見直すためには、現場の人が高い感受性を持つて自ら変えていくことが必要となる。その際には、人間は目の前の小さな利益や嘘、手抜き、ごまかしに惑わされる弱い存在であるという「性弱説」でリスクに備えることが必要となる。

やる気の出る「コンプライアンス」とは
 やる気の出るコンプライアンスとは、やらされるのではなく、自ら考えて行うもの。どこにリスクがあるのか、経営者も従業員も自分で考えることが必要。自ら考えることでやる気につながる。

現在は、違法性だけでなく誠実性が問われる時代。過去に作られたルールやマニュアル、法律を守っているだけでは不十分であり、関係者に誠実な対応を採ることが望まれる。

また、今起きている企業の不祥事のほとんどはデータ偽装に端を発するもの。データ偽装は被害が出たり、事故が起きないと発覚しない。データ偽装は「経営陣と現場担当者のおごり」、「過去から積み重ねられた違法行為の呪縛」が原因であり、データ偽装を防ぐためには内部通報と内部統制の充実しかない。

今後、全漁連の機能の変化に伴って、漁協での自律的な監事監査の重要性が高まり、「名ばかり監事」の存在は許されなくなる。疑惑を招く事実があれば、それについて深く追求し、真相を究め是正するのが監事の役割。優秀な監事の希望者が増えるように待遇等を改善していくことも必要となる。

講演

『やる気の出るコンプライアンス』



日比谷パーク法律事務所
代表弁護士
久保利 英明さん

現在のコンプライアンス経営の原点は、渋沢栄一の言葉にある。日本型経営の始祖で第一国立銀行や東京証券取引所、商工会議所を創設した渋沢栄一は、「富と貴きとはこれ人の欲するところなり。その道をもつてせずして、これを得れば処らざるなり（道理を持った富貴でなければ貧賤のほうがよいが、正しい通りを踏んで得たる富貴ならば何の差し支えもない）」と説き、論語をその思想の中心とした。これは同時代に生き、同様に幕臣であった福沢諭吉が英米の経済論に傾倒したのとは対照的である。

久保利 英明さん紹介

●現職

金融庁 総務企画局 参事
 （法令等遵守調査室顧問）
 日本取引所グループ 社外取締役
 農林中央金庫 経営管理委員会
 日本銀行コンプライアンス会議メンバー

1944年、埼玉県生まれ、72歳。東京大学法学部在学中に司法試験合格。司法修習生を経て弁護士登録の後、1998年に日比谷パーク法律事務所を開設。2001年度には第二東京弁護士会会長、日本弁護士連合会副会長を務める。

2015年からは桐蔭法科大学院教授を務めるほか、これまで金融庁顧問・金融問題タスクフォースメンバー、知的財産戦略本部本部員のほか、不二家やNHK、ゼンショーホールディングス等多数の第三者委員会の委員長、委員を歴任。

●主な著書

久保利英明ロースクール講義
 志は高く 目線は低く
 日本改造計画ーガバナンスの視点から

新たな漁協職員が誕生しています

漁協組合学校の卒業式が行われました

01

3月9日(木)、千葉県柏市にある全国漁業協同組合学校で卒業式が行われました。漁協職員としての知識を学ぶことができる日本で唯一のこの学校には、昨年、18歳から45歳の14名が入学し、寮生活を送りながら研鑽を積んできました。ここでは現職の組合職員も学ぶことができ、卒業生のうち4名は現職です。

卒業生は今後、13名は漁協へ、1名が漁業を営む実家へと就職します。道内出身の8名(うち現職1名)も春から各所属漁協で勤務することとなり、活躍が期待されます。

また、今春も組合学校へは道内からの5名を含む8名が入学し、1年かけて知識や経験を身に付けていきます。



1年間お世話になった講師や寮監の皆さんと。卒業生は全国の漁協へ羽ばたいていきます

新たに得た知見を青年部活動へ活かしていきます

全道各地で地区漁青連大会が開催されました

02

2月から3月にかけて、漁協青年部員相互の研鑽に努める地区大会が各地で開催されました。

小樽地区では札幌市内でSTVラジオのランラン号のキャスターを務める田村みなみさんの講演を聞きました。参加者を取材対象者に見立てての模擬中継に会場は大盛り上がりとなりました。

昨年は猛吹雪で中止となった北見地区では、北見市内で税務署の職員を講師に招き、マイナンバーについて学んだほか、胆振地区では講演のほかに若手部員による決意表明が行われるなど、いずれの地区でも見識を深め、青年部活動に活かせる大会となったようです。



田村みなみさんから取材を受けたのは成田前小樽地区会長。同年代の講師は大好評でした



2年ぶりの開催となった北見地区では例年にまして盛り上がる大会となりました

全道漁協購買事業推進会議が開催されました



系統ブランド資材展示風景

3月3日(金)、ロイトン札幌にて、全道の漁協購買担当者およびぎよれん及び購買関連会社が参加して、「平成28年度全道漁協購買事業推進会議」が開催されました。

本会議は系統購買事業全般について認識の共有化を図り、諸課題について協議・検討する他、漁協担当者と全道規模での連携強化を図る目的で開催されています。

会議は平成29年度ぎよれん購買事業方針及び推進内容の説明に始まり、系統ブランド資材海外メーカー(タイ・ベトナム)視察報告、ぎよれんWEBシステムの説明や系統ブランド資材の商品紹介が行われました。また、昨年に引き続き開催された研修会では、無結節網の製造機を世界で初め



ぎよれん購買事業の29年度事業方針を説明する、購買部・阿部参事

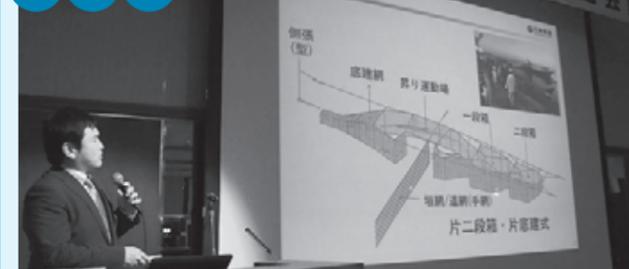
て発明し、国内シェアの半分を占める日東製網(株)の担当者による講演があり、専門メーカーならではの資料や映像を用いた講演に、参加者は熱心にメモを取りながら聞き入っていました。



系統ブランド資材海外メーカー視察の報告を行う、常呂漁協・澤向経済部長



研修会



無結節網の国内トップメーカーである日東製網(株)により、映像資料を駆使した定置網に係る研修会が開催されました



全道から大勢の漁協購買担当者が参加し、研鑽を深めました

小樽

3月末で終漁した管内にしん漁は低水温の影響で出遅れがあったものの、豊漁であった昨年並みの水揚げとなりました。漁期終盤に来遊した若齢魚を来季に向けて獲り控えるなど、浜では資源管理の気運も高まりつつあります。春の息吹が感じられる昨今、前浜では各種かれいの水揚げが増えており、また、これから本格化するほど稚貝の出荷に向けて、浜は日に日に活気づいています。

室蘭

当管内の主要魚種であるほたては、加工具の水揚げが終盤戦を迎えています。噴火湾地区の水揚げはあと数回程度になり、入札価格は高値のまま終息しそうです。3月中旬からはえび籠漁が始まるので、大漁を期待したいです。また各地ではかれい類を中心に水揚げがまとまり始めました。来月には春定置漁も始まり、様々な魚の水揚げが期待されます。

根室

3月13日より別海漁協のほっき桁網漁が始まりました。初日の水揚げは、約3.5トンの浜値k@420~360でした(昨年同期:約5.8トン、浜値k@340~270)。3月20日時点でも浜値は、昨年より高値を維持し、ほっきの需要の高さを感じられます。今後は、あさりの操業も始まり、ますます活気づいていきます。現在、根室管内は流氷の影響を受け、満度に出漁できていませんが、安全操業を心がけていただき、大漁となることを祈念しています。

留萌

留萌管内では今月中旬より春かれいの刺し網漁が本格化していく予定です。昨年に引き続き、豊漁となることを期待しながら、浜は活気づいて準備をすすめています。また、3月末にはいよいよほたての稚貝出荷作業も始まります。今年は時化が少なく、安心・安全に漁ができ、大漁であることを心から祈念しています。

大漁祈願!

news 浜のほつとニュース

梶山

今年は昨年より積雪量が少ない冬となりました。例年であれば春を感じさせる季節ですが、未だ気温が低く、春を待つ日々が続いています。3月に入り、ひやま地区ではなまこの水揚げが増えてきました。なまこの漁期は2月から6月にかけてですが、浜は4月の最盛期に向けた準備に余念がありません。なまこの味は、その見た目とは裏腹に癖がなくシンプルで、食感もコリコリとして、酢の物などには抜群の相性となっています。

函館

松前地区では、やりいか漁が最盛期を迎えています。昨年は例年以上に水揚げが増加し、今年についても豊漁が期待されていました。しかし、2月中旬までは昨年を超える数量が水揚げされましたが、2月下旬から3月上旬にかけて数量がまとまらず、3月16日現在で約19トン(昨年同期:約54トン)と低調な水揚げとなっています。単価については大幅減産のため、昨年を大きく上回っています。

釧路

-10℃を下回る寒さが続いた釧路管内ですが、3月に入り暖かな日が増え、道端には福寿草の黄金色の花やふきのとうが芽を出し始めました。浜では、たこ漁や毛がに漁が中盤から終盤に向かっていきます。一方、4月からは各地で灯台つぶの水揚げが本格化し、4月10日に解禁となる近海の春鮭鱒漁も各地で出漁の準備が進んでいます。春シーズン目前の釧路ですが、まずは良い風を期待し、引き続き安全操業を願っています。

稚内

宗谷管内では毛がに籠漁の籠入れが3月15日から行われ、翌日から水揚げが開始されました。昨年に比べて高値に推移していることから、今後の価格推移に注目が集まっています。また、ほたて漁も漁場造成が開始され、順調な水揚げが続いています。春を迎え浜は活気づいていますが、安全操業で豊漁となることを心より祈念しています。

日高

3月に入り、管内各地でつぶ籠漁・えび籠漁が始まりました。昨年同様時化模様が続き、思うような操業ができず、真つぶの数量は昨年並、単価は昨年に比して低値で推移しています。そんな中、今年は毛つぶが昨年を大きく上回る高値で推移しており、春漁へ向けて今後の水揚げに期待したいところです。日も長くなり、春の日差しを感じられるようになっていく中、皆様の安全操業と大漁を願っています。

北見

4月に入りオホーツクも徐々に春めいてきて、本格的な海明けを迎えています。3月中旬からは紋別・網走の底曳網漁、3月下旬~4月上旬にかけてほたての漁場造成や毛がに漁もスタートし、浜では賑わいを見せています。今後は刺し網漁等も始まり、春漁が本格化していきますが、安全操業と大漁を心より祈願しています。



先日港内の色が変わりました。鯉の群来です。鯉は終盤です。(小樽市 宮古登美子さん)

3月になり、朝・晩は寒いですが日中は暖かくなりましたね。春が近づいてきています。(釧路市 木村美保子さん 67歳)

なみまるくんは、子供も楽しめる間違った探しや、頭も使うクロスワードパズルなど楽しいページがあつて、うれしいです。お父さんもこの前、写真に載りました。(雄武町 花松明奈さん 10歳)

いつも楽しく家族で見えています♡うちは鮭をこっています。今年、大漁しますように。なみまるくんさいこう!!(羽幌町 古川光さん 14歳)

お雛様も終わり、卒業式も終わり、一つの行事が終わって、また新しい行事が始まりと繰り返して、早くも3月半ばになる。なんだか年を取ると1年がとて早く進んで行ってしまつように思われます。孫達も大きくなり、話す言葉も大人になり、あんなに小さかったのになあと思ひ、自分が年を取ったのがまだまじと思わせられますね。でもまだまだこれからがんばるぞ。(函館市 トトちゃんさん 65歳)

図書館から本を借りて読んでいます。分野は特に決めず読みあさっています。記憶しておきたいことは書くようにしていますが、それでもなかなか頭には入らないものです。にぶい頭に喝!!(初山別村 白府美恵子さん 59歳)

養殖昆布の間びきが始まりました。暖かくなったとはいえまだまだ寒いですが、今年も美味しい昆布お願ひします。(函館市 K.K.さん 51歳)

暖かくなりました。春です。もう親子の熊が目覚めて散歩している様です。誰も彼もじっとしていられない春です。(島牧村 小倉陽子さん 67歳)

今年はおこ汁を食べそこねてしまったのが、心残りです。あー食べた!!(函館市 高橋治弥さん 17歳)

念願のワカサギ釣りに行ってききました!!ですが、ワカサギは一匹も釣れず。笑。釣れたのはフナとハゼ。来年こそはしっかりワカサギを釣って食べたいと思います!!!(札幌市 ワカサギ釣りたい 24歳)

編集部からのお知らせ
皆様からのお便り、写真、イラストをお待ちしています!
次の①~③を明記の上、ご応募ください。抽選で5名様に図書カードをプレゼントします。
①なみまるおたより箱への投稿(お便り、写真、イラスト等)や、広報なみまるくん4月号への感想・ご意見など(※150字程度まで)
②11ページのクロスワードの答え
③住所・氏名・年齢・電話番号

宛先が変更になりました!!
(郵便) 〒060-0003
札幌市中央区北3条西7丁目1番地
北海道ぎょれん 総務企画部 広報担当
(FAX) 011-242-3543
(電子メール) info@gyoren.or.jp

※「なみまるおたより箱」には①からご紹介します。ご応募いただいた方の個人情報は、図書カード進呈や、お便り、写真、イラスト等の掲載(氏名、年齢、市町村名)にのみ使用いたします。写真やイラストは、返却できませんのでご了承ください。



新年度がスタートしました。機構改革があり、営業企画部の廃部に伴い、広報誌は総務企画部が担当することになりました。誌名が「広報ぎょれん」から「なみまるくん」に変わり、それまでのB5版から現在のA4版になり、誌面も含め大幅にリニューアルされたのは、総務企画部での発行時。原点復帰と考え、新メンバーで知恵を出し合い、浜の皆さんが心待ちにするような誌面作りに取り組みます。(阿部)

今月の1枚
〈編集部より〉
とても微笑ましい写真ですね。これからは浜のばあちゃん料理教室たくさん開催してね。
担当となり丸5年。この春、人事異動により広報を卒業することとなりました。文章は読むのも書くのも好きですが、皆さんに分かりやすく、読みやすくお伝えすることに、自分の技量の無さを感じ、悪戦苦闘したことが思い出されます。浜を回り、消費地取材し、人と出会い、自分の頭で考えた日々は、かけがえのない財産です。来月号からの新体制なみまるくんは益々のご期待をよろしくお願ひします。(工藤)

タイトル:ばあちゃん、上手に出来たよー!!
ほたてフライ(串付)作りのお手伝いのひとコマ。これぞ、浜のばあちゃん料理教室!! 息子はちょっぴりほたてが苦手ですが、パパやじいちゃんが獲るほたてをたくさん食べて大きくなってね!!
(別海町 新濱仁美さん 34歳)

着て安心 見ても安心 ライフジャケット常時着用
公益社団法人 北海道海難防止・水難救済センター

上品な香りが魅力の甘えびのお吸い物

甘えびの頭のお吸い物

浜のおかあさん

レシピ



今回は「甘えびの頭のお吸い物」をご紹介します。
シンプルな味付けながらえびの旨味でおいしく
仕上がる、お手軽レシピです。

材料(4人分)

- ・甘えびの頭…24匹分
- ・長ねぎ…1本
- ・顆粒だし…少々
- ・塩…適量
- ・水…480cc

作り方

- ① 甘えびの頭のひげをとる。
- ② 鍋に水480ccを入れ、お湯を沸かし甘えびの頭を入れる。
- ③ 火が通ったら、お好みで塩や顆粒だしで味を調える。(あくが出るのでよくとる)
- ④ 長ねぎを斜め薄切りにして、火を止めてから入れる。
- ⑤ 盛り付けをして出来上がり。



北るもい漁協

米森 みゆきさん